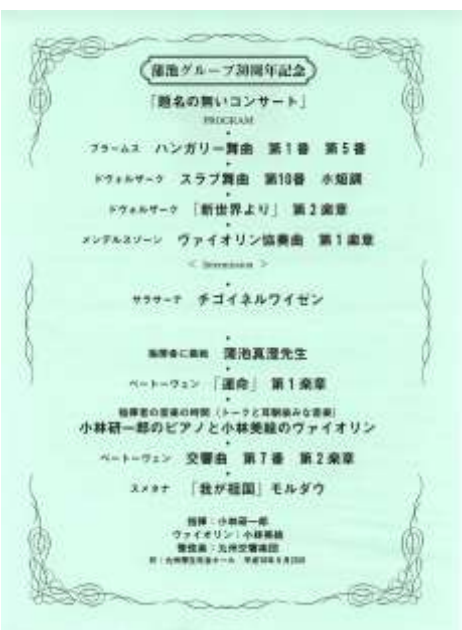


十月に入り、気温も下がり、秋の気配が深まって来ました。秋恒例のコウロギさんの声も聞かれるようになりました。朝晩冷え込んで来ましたので風邪を引かないように気をつけましょう。

先日、関連六病院の合同学術研究会が和白で開催されました。演題数が多く、二会場に分かれて発表が行われました。これは若手職員に学会発表の機会を与えようとのことから始まり、早九回目になります。初期に発表した先輩職員も今ではベテランです。特に今回から研修医による発表も増え、内容も濃く、活発な討論が行われました。人前でしゃべるだけでも大変なのに、症例提示をしながら、先輩たちから優しく、厳しく質問されるのは大きなプレッシャーですが達成感は一生涯忘れられないものとなるでしょう。今月の終わりには選考会を兼ねた院内研究発表会が行われ、次の演者たちが決まります。その選ばれた演者たちはそれから本番の発表までの間、一生懸命その担当する症例について勉強することでしょう。

九月二十三日には当グループ三十周年を記念してクラシックコンサートが九州厚生年金会館で開催されました。九州交響楽団を迎え、小林研一郎さん指揮、小林美絵さんヴァイオリンという素晴らしい組み合わせで「題名の無いコンサート」と称しまして、トーク形式で進めるといふ画期的なコンサートでした。グループの職員をはじめ、クラシックに精通していない人でも眠るひま？も無いほど楽しいひとときでした。こんなに素晴らしいコンサートを指揮進行していただいた小林研一郎先生には大変感謝しております。参加者は皆、にわかクラシックファンと化し、この中から本当のクラシックファンが生まれることでしょう。ありがとうございました。

医療情勢も病院機能評価、出来高払いから包括医療（DPCの導入）へ、EBM（根拠に基づく医療）、介護保険の見直し、国民医療費削減、など病院を取り



巻く環境は日々変化してきております。この変化に患者さんが振り回されることが無く、安心できる医療を提供できるように努力して行きたいと思えます。 第十九章。

